

令和5年度 大郷地区コミュニティ懇談会

◆開催日時：令和5年8月26日（土） 17:00～18:40

◆開催会場：大郷地域生活センター 2F 集会室



<質疑概要>

大郷橋の架け替え問題について

発言：平成27年に鷺巻地区、根岸地区及び秋葉区の荻川地区で組織する大郷橋架け替え促進協議会を立ち上げ、市長はじめ関係機関にアピールしながら架け替えの機運を高める活動をしている。

大郷橋の架け替えをただのインフラ整備ではなく、地域活性化の起爆剤にもなるという考え方のものとして計画をしてほしい。

回答：大郷橋の架け替えについては、今のところ具体的な計画はなく、当面は長寿命化修繕計画に基づいて維持していくことと考えています。

南区の人口減少対策について

発言：公共交通過疎地である大郷地区を逆手に取って、自家用車があればどこへ行くにも同じような時間で出かけられることを、移住・定住促進のPRにしてはどうか。

回答：コロナ禍を契機に東京圏の人が地方に目を向けており、新潟に住んでテレワークで仕事をする方は増えています。

移住に対しては、条件はありますが最大100万円の支援金を支給しています。

また、東京での移住セミナーにおいては、実際の移住者が新潟での暮らしを話すなかで、満員電車での通勤より自家用車での通勤に魅力を感じるなどの話をしているようです。

発言：SDGsを目指した農業や自家菜園などをアピールして南区に人を引き寄せていただきたい。

回答：南区の自然の豊かさ、田園や果樹畑が広がる魅力をPRしていきたいと考えています。

発言：地域活性化のために市民農園に取り組んではどうか。

回答：中央区や東区の市民農園は人気があり利用率は高いが、郊外に行くほど利用率が低くなる状況にあり、南区では今のところ具体的な計画はありません。

発言：空き家の利活用への取り組みを教えてください。

回答：地域の茶の間や自治会の集会所のために空き家をリフォームする費用や、県外からの移住者が空き家を購入する費用などの一部を補助しています。

発言：近所にも空き家があるが、どのような手続きをすると市で活用してもらえるのか。

回答：市が個人所有の空き家を活用することは考えていません。

西蒲区の越前浜地区では、地域が空き家情報を把握し、積極的に移住に関する取り組みを行っています。

今後、大郷地区において自治会やコミ協が中心となり、移住の推進に係る取り組みの考えがありましたら、ご相談いただきたいと思います。

農業の活性化について

発言： 遊休農地を積極的に活用する方法はないのか。

回答： 果樹担い手協議会で遊休農地になりそうな農地の情報を集めて、耕作をやめる方と引き継ぐ方とのマッチングを行う取り組みをしていますので、情報がありましたら南区農業振興公社までお知らせください。

発言： 鷲ノ木に子育て世代の3人が女性ならではの目線で農業をやっている会社がある。農業の楽しさややりがいなどをアピールしていただきたい。

回答： 若い人が農業に関わって一生懸命にやっている姿を区のSNSで発信して、南区の農業の活性化につなげていきたいと考えています。

発言： 南区の農産物をふるさと納税の返礼品の対象にしてほしい。

回答： 返礼品については通年で募集しており、南区でも大郷の果樹園やJAかがやきなどが採用されています。

区バスについて

発言： 運転免許を返納した高齢者が、区バスではなく短時間で目的地に移動できるシステムがほしい。

回答： 区バスの補完として乗合タクシーを運行しています。

信濃川堤外地の管理について

発言： 堤外地のなかで国に返還したところの雑草が酷くなっているが、管理はされているのか教えてほしい。

回答： 堤外地は川の底という扱いになっているので、草刈りはしないことになっていると伺っています。